

第 120 回景況調査報告書 (2022 年1月～3月期)

「仕入れ価格の高騰が利益を圧迫。いち早く価格転嫁の対応を！」

〔概況〕

2022 年 1 月～3 月期は、全ての指標が前回よりも悪化しました。特に利益 DI と新規受注 DI が悪化しており、利益 DI は前回の▲1.3 から 9.5 ポイント悪化し▲10.8、新規受注 DI は前回の 4.8 から▲9.0 ポイント悪化し▲4.2 とマイナス域となりました。昨年末まで感染症は落ち着きを見せ、景況感は前回まで回復基調でありましたが、今年初めからのオミクロン株拡大が影響したことと共に原材料の高騰・仕入れ単価の上昇により利益が圧迫されていることが DI 値悪化の大きな要因と推察されます。

業種別の動向では、製造業（生産財）、建設業（建築・土木）、サービス業（対事業所）はプラス域が目立ちました。ほとんどの業種で利益 DI の悪化や悪転が目立っています。多くの業種で原材料の高騰の影響が出ています。

従業員規模別の動向では、受注 DI は規模にかかわらず悪転がみられ、規模の大きい企業の利益 DI の悪化幅が大きくなっています。

経営上の問題点は、「原材料の高騰」が大幅に上昇し第 1 位の問題点となりました。「仕入単価上昇」も大幅に上昇し 2 番目の問題点として挙げられています。また、「人材獲得難」も高い水準であり、いずれもコスト上昇に直結するものです。「民間需要の停滞」も依然として高い水準となっています。

特設項目の“価格転嫁”では、37%の企業が「価格転嫁できていない・交渉する予定」、30%の企業で「一部価格転嫁できている」としており原材料 仕入単価上昇分を十分に販売価格に転嫁できていないことが分かりました。“融資返済状況”では、ゼロゼロ融資を利用している企業の 58%がまだ返済が始まっておらず、そのうち 1/4 の企業が「猶予の交渉・借り換えを検討」と回答しました。“インボイスへの対応”については、40%が「対応はこれから」、26%が「理解できていない」との結果でした。

今回の景況調査では、これまでのコロナ感染症による需要の停滞に代わり、仕入れ価格上昇が企業経営に及ぼす影響の方が大きくなっており、景況感のフェーズが変わってきています。コロナの影響、エネルギーコスト増、円安による仕入れ価格上昇に重ねて今後ウクライナ侵攻によるロシアへの経済制裁の影響は中小企業にも及んでくると考えられます。今一度、世界情勢も認識した上で、自社の課題を把握し、経営指針書の見直しと実践が重要になります。

〔調査要領〕

調 査 時 2022 年 3 月 1 日～2022 年 3 月 28 日

対 象 企 業 （一社）福岡県中小企業家同友会 全会員企業 2,175 社（3 月 1 日時点）

調 査 の 方 法 会員専用サイト（一部 FAX）にて配信、自計記入

回 答 数 264 社の回答（回答率 14.9%）

（製造業 47 社、建設業 39 社、商業流通業 35 社、サービス業 141 社、不明 2 社）

【回答企業の概要】

企業規模（従業員数）

0～10名以下 142社、11名～20名以下 40社、21名～50名以下 44社
51名～100名以下 22社、100名以上 15社、不明 1社

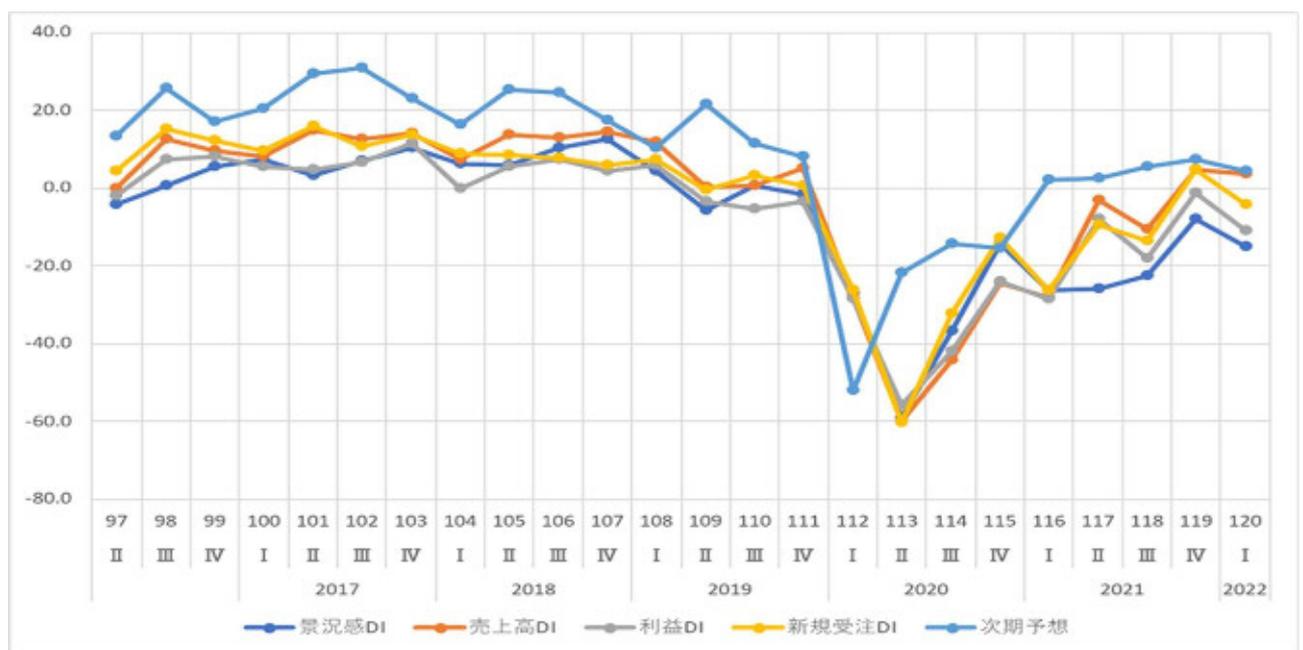
企業の所在地 福岡地区 150社、北九州地区 42社、筑豊地区 39社、県南地区 27社、
県外 5社、不明 1社

【全体的な特徴】

- 全指標が悪化、
特に利益D Iの悪化が顕著に

各指標は前回よりマイナス、売上高D Iは依然としてプラス域で減退幅も小さいが、利益・新規受注に悪化が見られます。

項目	第120回	前回からの変動幅
景況感 DI	▲15.1	▲7.1
売上高 DI	3.5	▲1.3
利益 DI	▲10.8	▲9.5
新規受注 DI	▲4.2	▲9.0
次期予想 DI	4.2	▲3.2



■ 新規受注 DI

8.対直近期新規受注比較		第119回	DI値	4.8	第120回	DI値	-4.2	-9.0
No.	カテゴリ	件数	(除不)%		件数	(除不)%	増減	
1	大幅増加	14	4.5	31.3	6	2.3	-2.2	-3.3
2	やや増加	84	26.8		66	25.7	-1.1	
3	ほぼ横ばい	132	42.2	42.2	102	39.7	-2.5	
4	やや減少	66	21.1	26.5	69	26.8	+5.7	+5.7
5	大幅減少	17	5.4		14	5.4	+0.0	
	不明	5			7			
	サンプル数 (% [※] -)	318	313		264	257	-56	

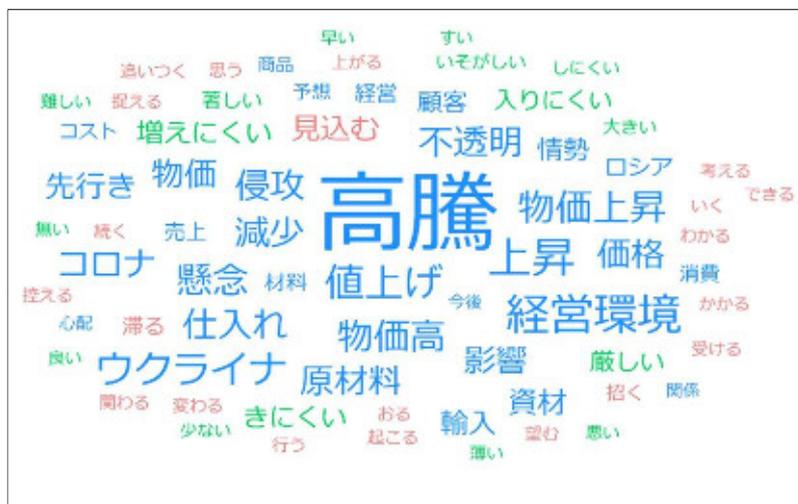
新規受注 DI 値は、前回より 9.0pt 悪化でプラス域から悪転しました。コロナ禍で需要の変化、異業種への新規参入などによる受注競争のなかで、資材原材料の確保難による売上機会の損失とともに、設備投資を控える声もあり、受注減の連鎖に繋がっています。

■ 次期予想 DI

10.次期業況予想		第119回	DI値	7.4	第120回	DI値	4.2	-3.2
No.	カテゴリ	件数	(除不)%		件数	(除不)%	増減	
1	非常によくなる	9	2.9	26.1	6	2.3	-0.6	+1.0
2	よくなる	71	23.2		64	24.8	+1.6	
3	現在と変わらない	169	55.2	55.2	129	50	-5.2	
4	悪くなる	55	18	18.7	55	21.3	+3.3	+4.2
5	非常に悪くなる	2	0.7		4	1.6	+0.9	
	不明	12			6			
	サンプル数 (% [※] -)	318	306		264	258	-48	

次期予想 DI 値は、プラス域ではあるが、前回より 3.2pt 減退しました。その内容の変化に注目する点があります。次期景況予想理由を分析（下記テキストマイニングツールによるスコア分析）すると、前回調査（10-12月）では頻出する単語として「受注」「コロナ禍」「コロナ」が目立つ一方で、今回調査では、これら単語に代わり、「高騰」「値上げ」「経営環境」「ウクライナ」が目立ち、特に「高騰」がキーワードと言えます。コロナによる経済活動の停滞の影響から脱しつつあるものの、円安、エネルギー高、原材料の高騰がどこまでいくのか、また重ねてロシア・ウクライナ情勢による国際的な経済制裁が続くことで、更なる物の価格の上昇幅の大きさと長期化を不安視していることが考えられます。

次期景況予想理由



前回



【業種・従業員規模・地域別の特徴】

業種別の動向

製造業と建設業はプラス域が多く好転も見られますが、サービス業はマイナス、または悪化が目立ちます。製造業（消費財）や商業流通業では好転や悪化緩和が見られます。

ほとんどの業種で利益DIの悪化が多いことが分かります。

	第120回	景況件数	景況DI	売上DI	利益DI	受注DI	次期予想DI	件単位
	クロス回答数		255(-56)	256(-53)	258(-52)	255(-57)	256(-49)	
	全体	262	-15.3(-7.3)	3.5(-1.7)	-11.2(-9.9)	-3.9(-9)	4.3(-3.2)	0.4
業 種	製造業（生産財）	26	8.3(15.5)	19.2(4.4)	-7.7(-14.8)	7.7(0.5)	-7.7(-25.5)	3.8
	製造業（消費財）	21	-42.9(9.5)	-9.5(25.5)	-28.6(21.4)	-14.3(9.5)	14.3(28.6)	4.8
	建設業（建築）	18	16.7(2.4)	5.6(-11.1)	-17.6(-20.5)	11.1(-0.3)	-5.6(-33.7)	5.6
	建設業（土木）	6	16.7(16.7)	33.3(3.3)	0(-10)	16.7(-3.3)	-33.3(-66.7)	16.7
	建設業（設備）	15	0(-9.1)	0(-4.8)	-13.3(-27)	6.7(-16.1)	0(-9.1)	6.7
	商業・流通業	35	-40(-14.2)	5.7(5.7)	-22.9(-1)	-2.9(13.2)	-5.7(4.3)	2.9
	サービス業（対事業所）	81	-2.6(-1.5)	13.9(-1.3)	8.8(-6.3)	2.5(-20)	7.8(-4.4)	1.2
	サービス業（対個人）	60	-34.5(-20.8)	-17.9(-10.8)	-25.9(-14.4)	-25(-13.9)	15.5(16.9)	1.7

○ 従業員規模別の動向

規模別動向を見ると、100名以上の規模の企業ではプラス域が目立ちます。利益DIは規模の大きい企業の悪化が目立ちますが、新規受注DIは規模の小さい企業の悪化が目立ちます。

	第120回	景況件数	景況DI	売上DI	利益DI	受注DI	次期予想DI	件単位
	クロス回答数		256(-55)	257(-52)	259(-51)	256(-56)	257(-48)	
	全体	263	-14.8(-6.8)	3.9(-1.3)	-10.8(-9.5)	-3.9(-9)	4.3(-3.3)	0.4
従 業 員 規 模	0名～5名	95	-13.8(-4.9)	-4.3(1.9)	-17(-8.2)	-12.8(-17.2)	6.5(1.2)	1.1
	6名～10名	47	-15.2(-11.3)	4.4(-1.4)	-2.2(1.8)	-8.7(-10.6)	4.5(18.5)	2.1
	11名～20名	40	-30.8(-16)	5(-1.7)	-5(-5)	21.1(21.1)	15(-4)	2.5
	21名～30名	23	-21.7(-10.6)	-13(-20.5)	-34.8(-31.1)	-17.4(-21.2)	0(-19.2)	4.3
	31名～50名	21	0(7.4)	19(19)	-4.8(-12.2)	0(-3.8)	-19(-42.1)	4.8
	51名～100名	22	-31.8(-16)	18.2(-13.4)	-18.2(-18.2)	-4.8(-20.6)	0(5.6)	4.5
	100名以上	15	50(21.4)	38.5(-23.1)	30.8(-19.2)	23.1(-12.6)	6.7(-14.8)	6.7

○ 本社地区別の動向

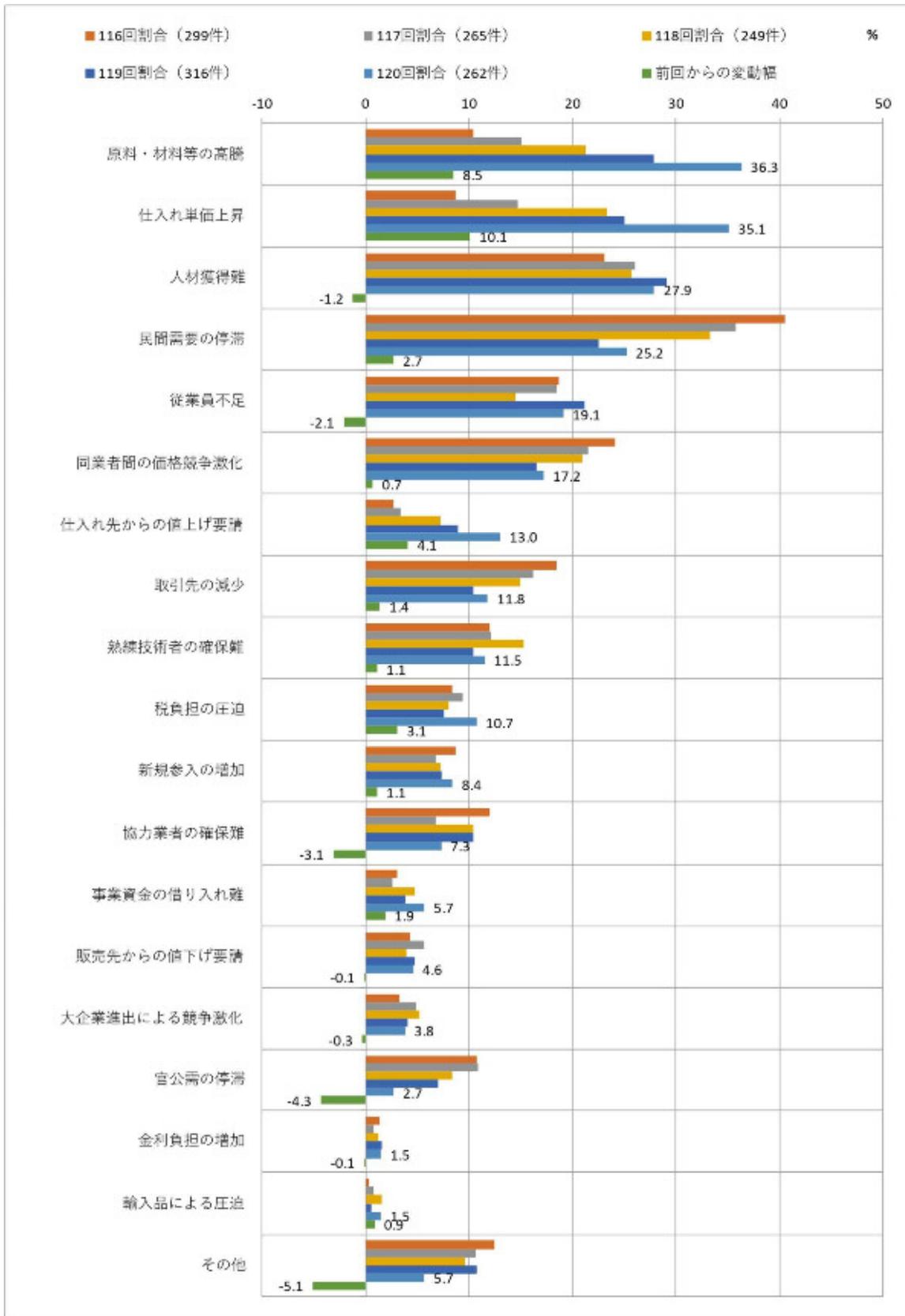
福岡地区は売上DIが好転した一方で新規受注DIは悪転しています。北九州地区は売上DI及び新規受注DIともに悪転したが次期予想は好転しています。

	第120回	景況件数	景況DI	売上DI	利益DI	受注DI	次期予想DI	件単位
	クロス回答数		256(-55)	257(-52)	259(-51)	256(-56)	257(-48)	
	全体	263	-14.8(-6.8)	3.9(-1.3)	-10.8(-9.5)	-3.9(-9)	4.3(-3.3)	0.4
本 社 地 区	福岡地区	150	-12.2(2.1)	7.5(10.2)	-6.8(-2.1)	-2.1(-4.1)	8.1(0.1)	0.7
	北九州地区	42	-32.5(-24.3)	-15(-25.2)	-41.5(-37.3)	-29.3(-29.3)	2.6(4.7)	2.4
	筑豊地区	39	-26.3(-31.6)	-5.1(-13.2)	-5.1(-10.7)	-5.4(-24.3)	-12.8(-20.7)	2.6
	県南地区	27	7.4(-4.7)	7.4(-25.9)	-7.4(-22.6)	14.8(2.7)	7.7(-8.4)	3.7
	福岡県外	5	25(25)	100(33.3)	60(60)	60(26.7)	20(-13.3)	20.0

【経営上の問題点】

● “原材料の高騰”と“仕入単価上昇”が大幅上昇！

物価の上昇によりほぼ全ての業種で原材料の高騰や仕入単価が上昇しています。短い期間で経営上の問題点が大きく入れ替わっており、先行き不安感が高まっています。



経営上の問題点を業種別に見ると、
 製造業では「原材料の高騰」が最も多い問題点として
 挙がっており、建設業では「仕入単価上昇」と「原材料
 の高騰」が共通して挙がっております。
 サービス業では「人材獲得難」と「民間需要の停滞」が
 多くなっています。

業種別の経営上の問題点									
%	全体	製造業 (生産財)	製造業 (消費財)	建設業 (建築)	建設業 (土木)	建設業 (設備)	商業・ 流通業	サービス業 (対事業所)	サービス業 (対個人)
回答件数	261	26	21	18	6	15	35	80	60
原料・材料等の高騰	36.4	65.4	66.7	55.6	66.7	60.0	40.0	16.3	23.3
仕入れ単価上昇	35.2	38.5	47.6	72.2	33.3	53.3	54.3	18.8	25.0
人材獲得難	27.6	34.6	9.5	22.2	16.7	20.0	31.4	27.5	33.3
民間需要の停滞	25.3	23.1	33.3	16.7	0.0	6.7	37.1	27.5	23.3
従業員不足	18.8	3.8	23.8	27.8	16.7	40.0	14.3	13.8	25.0
同業者間の価格競争激化	17.2	11.5	28.6	27.8	0.0	0.0	17.1	21.3	13.3
仕入れ先からの値上げ要請	13.0	19.2	9.5	0.0	16.7	20.0	31.4	7.5	10.0
取引先の減少	11.9	19.2	14.3	5.6	0.0	0.0	17.1	13.8	8.3
熟練技術者の確保難	11.5	15.4	4.8	33.3	50.0	26.7	0.0	10.0	6.7
税負担の圧迫	10.7	11.5	4.8	0.0	0.0	13.3	8.6	12.5	15.0
新規参入の増加	8.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	8.6	11.3	13.3
協力業者の確保難	7.3	7.7	0.0	27.8	16.7	33.3	0.0	7.5	0.0
事業資金の借り入れ難	5.7	7.7	0.0	11.1	0.0	0.0	5.7	6.3	6.7
販売先からの値下げ要請	4.6	7.7	4.8	0.0	0.0	0.0	5.7	6.3	3.3
大企業進出による競争激化	3.8	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	11.4	3.8	3.3
官公需の停滞	2.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	5.0	3.3
金利負担の増加	1.5	0.0	4.8	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3
輸入品による圧迫	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.7	0.0	3.3
その他	5.7	3.8	0.0	5.6	16.7	0.0	2.9	6.3	10.0
各業種別回答数に対するパーセント									
色付きセルは業種別の上位五項目									

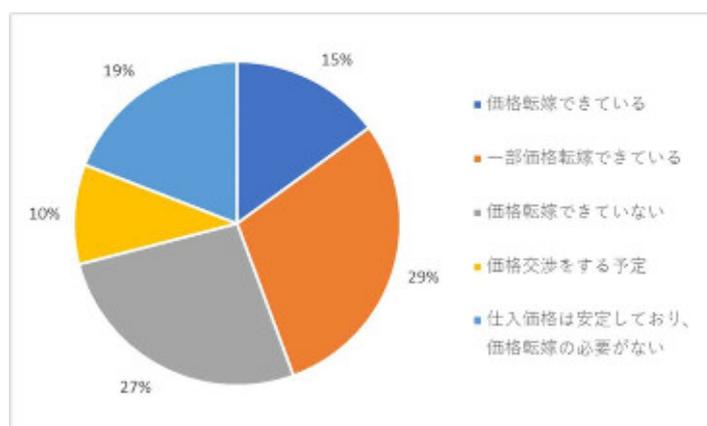
【資金繰りについて】

	資金繰り	第119回DI	15.7	第120回DI	13.0	-2.7
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	件数	(除不)%	構成比増減
1	余裕あり	57	17.9	45	17.7	-0.2
2	やや余裕あり	60	18.9	53	20.9	2.0
3	普通	134	42.1	91	35.8	-6.3
4	やや窮屈	55	17.3	47	18.5	1.2
5	窮屈	12	3.8	18	7.1	3.3
	不明	0	0	10	0	0.0
	サンプル数 (% ⁺ -ス)	318	318	264	254	-64

資金繰りについては「やや窮屈」「窮屈」と回答した企業の割合は前回よりも増加しており、25%の企業が窮屈だと感じている結果になりました。悪化の傾向を示しました。

【仕入価格上昇分の販売価格転嫁状況】

	13.価格転嫁状況	(S A)		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	価格転嫁できている	36	14.9	13.6
2	一部価格転嫁できている	71	29.5	26.9
3	価格転嫁できていない	64	26.6	24.2
4	価格交渉をする予定	24	10	9.1
5	仕入価格は安定しており、価格転嫁の必要がない	46	19.1	17.4
	不明	23		8.7
	サンプル数 (% ⁺ -ス)	264	241	100



15%の企業が「価格転嫁できている」と回答しましたが、36%は「価格転嫁できていない・交渉する予定」と回答しており、「一部価格転嫁できている」を含めると、64%の企業が価格転嫁できていないか、十分な価格転嫁ができていないこととなります。原材料仕入れ価格が今までにない値上がりをしている状況であり、価格転嫁への課題が見られます。

【無利子無担保融資の返済状況について】

14.無利子無担保融資の返済状況 (S A)				
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	返済が始まっている	67	26.6	25.4
2	返済はまだ先だが約定通り返済を予定している	72	28.6	27.3
3	返済はまだ先だが返済猶予等の交渉をしたい	14	5.6	5.3
4	返済はまだ先だが借り換えを検討している	7	2.8	2.7
5	新型コロナの実質無利子・無担保融資は利用していない	92	36.5	34.8
	不明	12		4.5
	サンプル数 (%ベース)	264	252	100

返済状況に関する設問では、ゼロゼロ融資を利用している企業の58%がまだ返済が始まっておらず、そのうち1/4の企業が「猶予の交渉・借り換えを検討」と回答しました。

【インボイス制度の対応】

16.インボイス対応 (S A)				
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	適格請求書発行事業者登録を実施または予定して対応を進めると共に、仕入先の対応も進めている	42	16	15.9
2	適格請求書発行事業者登録を実施または予定して対応を進めているが、仕入先の対応はまだ考えていない	31	11.8	11.7
3	制度は理解しているが、対応はこれから	105	40.1	39.8
4	制度をまだよく理解できておらず、対応できていない	69	26.3	26.1
5	その他	15	5.7	5.7
	不明	2		0.8
	サンプル数 (%ベース)	264	262	100

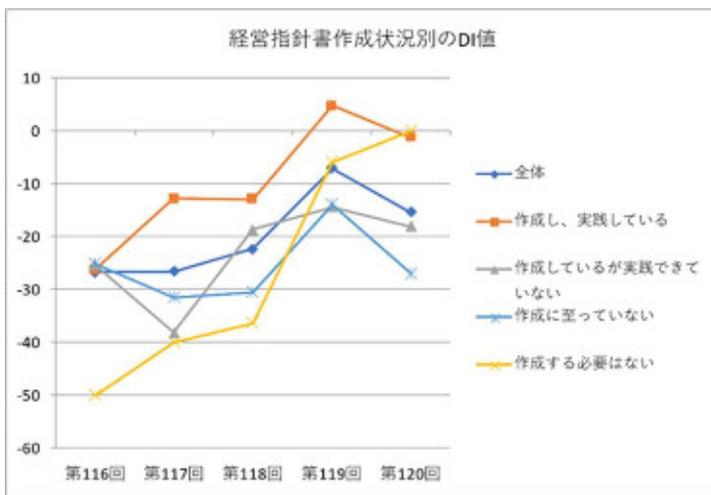
“インボイスへの対応”については、40%が「対応はこれから」、26%が「理解できていない」との結果でした。中小・小規模事業者への影響が大きく出ることが予想されるので情報収集が重要です。

【経営指針の作成と実践】

経営指針書の作成と実践		第119回		第120回		増減
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	件数	(除不)%	
1	作成し実践している	109	34.7	84	32.3	-2.4
2	作成しているが実践なし	70	22.3	61	23.5	1.2
3	作成に至っていない	117	37.3	101	38.8	1.5
4	作成する必要はない	18	5.7	14	5.4	-0.3
	不明	4	0	4	0	
	サンプル数 (%ベース)	318	314	264	260	-54

20.経営指針書の検証について (S A)				
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	毎月検証している	31	36.9	11.7
2	毎月ではないが検証している	36	42.9	13.6
3	年に1回は検証している	16	19	6.1
4	全く検証していない	1	1.2	0.4
	不明	180		68.2
	サンプル数 (%ベース)	264	84	100

<景況感と経営指針書の作成状況のクロス分析>



経営指針書の作成と実践状況を見ると、「作成し実践している」と回答した企業の割合は減少しています。経営指針書の検証状況では、「作成し実践している」と回答した企業の景況感は悪化しましたが、「作成に至っていない」の回答よりも高い水準を推移しています。

～部長談話～

人件費の上昇分も価格転嫁し、「激変の時代、全社一丸の経営を」実践しよう。

コロナの影響はまだあるものの経済活動は少しずつ動きを強めてきており、多少見通しがついてきている状況ですが、コロナの影響、円安、エネルギーコスト高による仕入れ価格上昇が大きな課題となり、重ねてウクライナ侵攻によるロシアへの経済制裁の影響も出始め、さらに仕入れ価格は上がるものと考えておかねばなりません。その仕入れ価格の上昇分を販売価格に転嫁し、利益を確保することはもちろんですが、それだけではなく社員の給与すなわち、人件費の上昇分も販売価格に転嫁することが必要です。2022年度も福岡同友会運動方針で「激変の時代、全社一丸の経営を！」とスローガンを掲げています。社員とともに知恵をしぼり、価格転嫁を進めることに、この厳しい経営環境を乗り越えていく鍵があるのではないのでしょうか。

【中小企業家の声】

景況理由

5. 今期景況判断	1. 業種	2. 従業員数	3. 本社所在地	9. 景況判断理由	
1	非常に良い	製造業(生産財)	11名~20名	筑豊	業界が活況であるから。そのため新規受注は困難である。
2	非常に良い	製造業(生産財)	100名以上	福岡	製造業の設備投資が旺盛になりそれに伴い顧客からの発注が増えた。
3	非常に良い	製造業(消費財)	11名~20名	福岡	離職者が無く、このような時代のおかげで組織が一つになった
4	非常に良い	建設業(建築)	11名~20名	福岡	原価高により採算性が低下しており、今後の受注量を見直しているため。
5	非常に良い	建設業(設備)	0名~5名	福岡	官庁工事の増加
6	非常に良い	建設業(設備)	0名~5名	北九州	時期的なもの
7	非常に良い	商業・流通業	0名~5名	県南	日頃の努力
8	非常に良い	サービス業(対事業所)	0名~5名	福岡	コロナ対策として行政が行う事業者向け支援の仕事が増えたから。
9	非常に良い	サービス業(対事業所)	6名~10名	福岡	新規案件の紹介依頼の増加
10	よい	製造業(生産財)	0名~5名	県南	まん延防止等重点措置の影響等で、人の動きが制限されている
11	よい	製造業(生産財)	6名~10名	筑豊	客先(メーカー)の製造ラインの部品製作やメンテをしていますが、客先の業況が良くなり、期末にかけて修理予算を消化しているためと思われます。
12	よい	製造業(生産財)	6名~10名	県南	止まっていた現場が動き始めている。
13	よい	製造業(生産財)	31名~50名	県南	担い手が減っているのか、仕事の引き合い・受注は季節的なものもあり増えた。ただし、原材料の高騰、更には消耗品等の費用の増加で利益は確保できていない。
14	よい	製造業(生産財)	51名~100名	福岡	営業力
15	よい	製造業(生産財)	51名~100名	県南	営業方法の重層化(展示会出席・ダイレクトメール・訪問営業)が功を奏している。
16	よい	製造業(生産財)	51名~100名	福岡県外	業界の景気回復
17	よい	製造業(消費財)	0名~5名	福岡	原材料建材の高騰、不足、品切れが多い
18	よい	製造業(消費財)	11名~20名	県南	新規販売先との契約が始まった。
19	よい	建設業(建築)	0名~5名	福岡	太陽光発電整備の増加
20	よい	建設業(建築)	21名~30名	福岡	営業努力により受注増には成功したが、労務単価のアップや人手不足による生産性の低下で利益はやや減少した。
21	よい	建設業(建築)	31名~50名	福岡	コロナ禍の反動
22	よい	建設業(建築)	100名以上	福岡	福岡近郊地区の人口増加
23	よい	建設業(土木)	11名~20名	福岡	例年の公共工事繁忙期の為
24	よい	建設業(設備)	6名~10名	福岡	民間、公共工事受注増加
25	よい	商業・流通業	51名~100名	北九州	原油高による売上高増加。販営員減による増収
26	よい	サービス業(対事業所)	0名~5名	福岡	突発的な受注があった。
27	よい	サービス業(対事業所)	0名~5名	北九州	得意先が好調のため
28	よい	サービス業(対事業所)	0名~5名	県南	コロナ明けに向けたDXに取り組む意欲的な企業からの相談が増えた
29	よい	サービス業(対事業所)	0名~5名	福岡県外	他事務所吸収
30	よい	サービス業(対事業所)	6名~10名	福岡	営業努力による
31	よい	サービス業(対事業所)	6名~10名	福岡	新規開拓、既存客の顧客接点に力を入れている。
32	よい	サービス業(対事業所)	21名~30名	筑豊	社員増加
33	よい	サービス業(対事業所)	100名以上	福岡	新規顧客開拓の結果です
34	よい	サービス業(対事業所)	100名以上	福岡	新規立ち上げが軌道に乗った為
35	よい	サービス業(対事業所)	100名以上	福岡	継続した営業活動による
36	よい	サービス業(対個人)	6名~10名	福岡	コロナ禍ではあるが人も物流も動いており、事故等の入庫も増えたこと、顧客の車の代替え時期が重なり中古車需要が増えたこと。
37	よい	サービス業(対個人)	21名~30名	北九州	新規の利用者が増えたため
38	よい	サービス業(対個人)	51名~100名	県南	前年があまりにも良くなかった。新規増加
39	よい	サービス業(対個人)	100名以上	北九州	管理者がPDCAをしっかりと回すことができ、新しい戦略に着手できているため。
40	普通	製造業(生産財)	11名~20名	福岡	営業活動の結果
41	普通	製造業(生産財)	11名~20名	県南	野菜への方針転換がようやく形になり始めた。厳しい時期だった。
42	普通	製造業(生産財)	100名以上	北九州	仕事量が上下し、経費も多く、材料費も多くかかり、利益が減少した。
43	普通	製造業(消費財)	0名~5名	福岡	季節や景気にあまり左右されない業種だから
44	普通	製造業(消費財)	21名~30名	福岡	新規得意先からの受注があった為。
45	普通	製造業(消費財)	31名~50名	福岡	特に既存顧客への受注活動に注力した。
46	普通	製造業(消費財)	31名~50名	筑豊	減った分を新規で補った結果
47	普通	建設業(建築)	0名~5名	北九州	毎年似たような流れだが案件により利益に幅があるため。
48	普通	建設業(建築)	0名~5名	県南	コロナによる住宅需要が増加に転じた為。
49	普通	建設業(建築)	11名~20名	北九州	特になし
50	普通	建設業(土木)	11名~20名	福岡	発注状況が、鈍化している
51	普通	建設業(土木)	21名~30名	福岡	原材料、燃油の値上がり
52	普通	建設業(土木)	31名~50名	北九州	人材不足のため
53	普通	建設業(設備)	0名~5名	福岡	仕事量が減った
54	普通	建設業(設備)	0名~5名	福岡	コロナの影響で営業が出来ない、お客様になるべくつかずいてくれると言われる
55	普通	建設業(設備)	6名~10名	福岡	保守管理の定期的受注があるので。
56	普通	建設業(設備)	6名~10名	福岡	たまたまと考えています。
57	普通	建設業(設備)	21名~30名	県南	材料の入荷遅れ
58	普通	商業・流通業	0名~5名	福岡	新製品の売上増、従来商品のコロナによる売上減
59	普通	商業・流通業	0名~5名	福岡	新規開拓が出来た
60	普通	商業・流通業	0名~5名	県南	お客様への価格改定がスムーズに行えた為

61	普通	商業・流通業	6名～10名	福岡	コロナ開けの製造増加した
62	普通	商業・流通業	6名～10名	福岡	コロナが終わった。
63	普通	商業・流通業	31名～50名	福岡	前年同期及び2021年10月～12月に比べ、ユーザーが大型の設備投資に積極的だったから。
64	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	会社を分社化して社員が減ったため。
65	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	前期の売上げが大きすぎた(今期の10～12月が膨らんでいる)
66	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	企業からの注文がなく、ネットにより情報をつかんで対応しているのではと考えている。
67	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	何もしていないから。
68	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	既存顧客の減少と新規顧客の獲得がありプラスマイナスゼロ状態です
69	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	既存顧客よりの受注増
70	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	北九州	社内の事情。
71	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	筑豊	既存顧客に対する新規提案
72	普通	サービス業(対事業所)	6名～10名	福岡	新型コロナウイルス
73	普通	サービス業(対事業所)	6名～10名	福岡	コロナが常態化したためと思われます。
74	普通	サービス業(対事業所)	6名～10名	福岡	コロナ禍、景気に左右されにくい職種であるため
75	普通	サービス業(対事業所)	6名～10名	福岡	コロナの影響が無くなり、通常に戻った。
76	普通	サービス業(対事業所)	11名～20名	福岡	新材材の投入
77	普通	サービス業(対事業所)	11名～20名	福岡	大規模開発案件が少ない。物価上昇で変更が多く、仕事が長期スパンになり、請求が遅れている。関西圏の代理店が九州に攻めてきているため、地元の制作会社のバイが減っている。
78	普通	サービス業(対事業所)	21名～30名	福岡	昨年この時期での受注が多かった反動
79	普通	サービス業(対事業所)	31名～50名	福岡県外	特別新型コロナウイルスの影響が出る業種ではなかったため。
80	普通	サービス業(対事業所)	100名以上	福岡	経営指針書のとおり
81	普通	サービス業(対事業所)	100名以上	福岡	継続的な事業が多いため
82	普通	サービス業(対事業所)	100名以上	県南	コロナ禍による客先との契約内容の仕様削減および作業実施の先延ばし
83	普通	サービス業(対個人)	0名～5名	福岡	不動産は今のところ順調に推移しております。コロナに関係なく福岡パブルみたいです。(特に住宅用地は)
84	普通	サービス業(対個人)	0名～5名	福岡	コロナによる変化は無い
85	普通	サービス業(対個人)	6名～10名	筑豊	コロナの為
86	普通	サービス業(対個人)	6名～10名	筑豊	コロナで新規の提案が出来ない。
87	普通	サービス業(対個人)	21名～30名	福岡	競合他社に取られている。
88	普通	サービス業(対個人)	31名～50名	筑豊	季節性の要素で例年と変わらない傾向
89	悪い	製造業(生産財)	0名～5名	福岡	販売先のコロナによる営業自粛による売上低下。
90	悪い	製造業(生産財)	0名～5名	北九州	半導体不足による取引先の受注減による影響
91	悪い	製造業(生産財)	21名～30名	県南	このところの原材料価格高騰に加え、ロシアのウクライナ侵攻等もあって動きが鈍っている印象を受けており、そのせいではないかと睨んでいる。
92	悪い	製造業(生産財)	31名～50名	福岡	受注品の出荷が遅延したため
93	悪い	製造業(消費財)	6名～10名	福岡	仕入れ価格上昇
94	悪い	製造業(消費財)	11名～20名	福岡	新型コロナ感染拡大に伴う「まん防」の影響で飲食店等の売上減少の為。また、外国産商品の仕入れ価格上昇に伴い、粗利率が減少した為。
95	悪い	製造業(消費財)	11名～20名	北九州	社員のコロナ感染による人員不足
96	悪い	製造業(消費財)	21名～30名	福岡	コロナの影響にて売上減、生産商品の幅、新ジャンル商品の販売及び価格の調整にて利益横ばいの状況
97	悪い	製造業(消費財)	21名～30名	福岡	既存新規の掘り起こしの効果。
98	悪い	製造業(消費財)	51名～100名	福岡	お客様の資材の原料が入庫せず、仕事がキャンセルされた。
99	悪い	製造業(消費財)	51名～100名	福岡	全体の動きがにぶいように感じます
100	悪い	建設業(設備)	31名～50名	筑豊	民需の冷え込みが、昨年よりもさらに厳しくなったことが原因で、なかなか民需物件が出てこない。また、8については、12月に官需で年間売上上に相当する大型物件の受注があったため。
101	悪い	建設業(設備)	51名～100名	福岡	売上、受注ともやや増加であるが、資材価格の高騰により利益率が低下した
102	悪い	商業・流通業	0名～5名	福岡	世の中全体的に景気が悪い流れ。
103	悪い	商業・流通業	0名～5名	県南	各種食材が値上がりしていく中で他社から当社への乗り換えがあった。
104	悪い	商業・流通業	6名～10名	筑豊	取引先の出荷減少や原材料高騰による利益の圧迫。
105	悪い	商業・流通業	6名～10名	筑豊	輸入価格の高騰、器具納期的大幅遅延
106	悪い	商業・流通業	11名～20名	福岡	法規制の強化、新規参入の増加、競合の増加
107	悪い	商業・流通業	11名～20名	福岡	コロナ関係の規制により
108	悪い	商業・流通業	11名～20名	北九州	設備投資の停滞、仕入れ価格の上昇
109	悪い	商業・流通業	51名～100名	筑豊	・昨年大型案件があったため・半導体不足による商品納期遅延のため
110	悪い	商業・流通業	51名～100名	県南	燃料高騰による、利益減と、コロナ禍による、まん延防止や緊急事態宣言によって、外食産業の需要が落ち込み、影響があった。
111	悪い	商業・流通業	51名～100名	福岡県外	仕入が上がり販売価格も上がった。
112	悪い	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	昨年からの減少を取り戻すために新規事業を立ち上げて若干回復傾向にあるものの、利益は減少している感がある
113	悪い	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	クライアントが、コロナの影響で売上減少、取引先である弊社関連への発注が減少している。
114	悪い	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	コロナで中小企業が人材投資に力を振り向ける余裕がなくなっている。
115	悪い	サービス業(対事業所)	0名～5名	筑豊	コロナの影響が少しずつ出てきている
116	悪い	サービス業(対事業所)	0名～5名	筑豊	顧問先の減少・顧問料の値下げ
117	悪い	サービス業(対事業所)	6名～10名	福岡	コロナ禍の影響で旅行需要の激減
118	悪い	サービス業(対事業所)	6名～10名	北九州	労働者の減少
119	悪い	サービス業(対事業所)	11名～20名	福岡	既存顧客からの発注の減少。
120	悪い	サービス業(対事業所)	11名～20名	福岡	当社のお客様のほとんどがサービス業で、コロナによる売上減少で人材確保の需要が思ったほど伸びなかった。

121	悪い	サービス業(対事業所)	11名~20名	県南	不況
122	悪い	サービス業(対事業所)	21名~30名	福岡	コロナ禍による影響により、貨物量の減少と燃料費の高騰
123	悪い	サービス業(対事業所)	21名~30名	北九州	オミクロン株拡大で身近に感染者が増え、お客様に接触を控えられた為、
124	悪い	サービス業(対事業所)	51名~100名	福岡	コロナ禍での事業所向け、個人向けサービスが動いていない。
125	悪い	サービス業(対事業所)	51名~100名	福岡	前期より売り上げが減少している
126	悪い	サービス業(対個人)	0名~5名	北九州	昨年に続いてコロナ禍のため
127	悪い	サービス業(対個人)	0名~5名	北九州	コロナ対策として、店舗を閉鎖しているため、来客の減少が理由。
128	悪い	サービス業(対個人)	0名~5名	北九州	材料費の高騰など
129	悪い	サービス業(対個人)	0名~5名	筑豊	コロナ禍とウクライナ情勢による流通難
130	悪い	サービス業(対個人)	0名~5名	県南	まだまだコロナの影響が続いています…
131	悪い	サービス業(対個人)	6名~10名	福岡	感染症拡大で経済活動が減少しているため(残業・給与等の減少)
132	悪い	サービス業(対個人)	6名~10名	北九州	新型コロナの影響
133	悪い	サービス業(対個人)	11名~20名	福岡	先行きが見えない状態で、買い控えが続いている。
134	悪い	サービス業(対個人)	11名~20名	筑豊	コロナによる需要の減少が考えられる
135	悪い	サービス業(対個人)	21名~30名	福岡	コロナの影響
136	悪い	サービス業(対個人)	21名~30名	筑豊	コロナウイルスの増加
137	悪い	サービス業(対個人)	21名~30名	県南	マン防により、減少
138	悪い	サービス業(対個人)	51名~100名	福岡	コロナによりサービスの利用控えが続いている
139	悪い	-	-	-	コロナの影響による新車の納期遅れや設備の納期遅れによる減少
140	非常に悪い	製造業(生産財)	0名~5名	北九州	コロナの影響に加え、不具合が発生して改修に長期間を要したため、売上に直結した上に多くの顧客が離れていった。
141	非常に悪い	製造業(生産財)	11名~20名	福岡	オミクロン株の感染拡大のため仕事が減ったり、集客が減ったり、購買意欲が減ってしまったため。
142	非常に悪い	製造業(消費財)	6名~10名	福岡	蔓延防止が出て飲食店からの注文がなくなった
143	非常に悪い	製造業(消費財)	21名~30名	福岡	民需、官需の減少に加え、コロナ禍で積極的営業活動が大きく制約を受けた。
144	非常に悪い	商業・流通業	0名~5名	福岡	コロナウイルス感染症の影響
145	非常に悪い	商業・流通業	0名~5名	筑豊	コロナ感染拡大のため
146	非常に悪い	商業・流通業	11名~20名	福岡	先仕入れが多くて売上化と利益化に至っていない。
147	非常に悪い	商業・流通業	51名~100名	福岡	原油高の為、合成樹脂価格の高騰、為替が急激な円安の為、原価が高騰し、値上げが追いついていかず、利益を圧迫している。
148	非常に悪い	商業・流通業	100名以上	福岡	まん延防止等重点措置発令に伴う飲食店等の営業自粛
149	非常に悪い	サービス業(対事業所)	0名~5名	福岡	婚礼関係の仕事のため、コロナの影響を受けました。
150	非常に悪い	サービス業(対事業所)	0名~5名	福岡	旅行業の為、去年も非常に悪くなっておりました。それと比べてとお考え下さい。2019年度と比べると大幅減少となります。
151	非常に悪い	サービス業(対個人)	0名~5名	福岡	コロナ禍、結婚式、お葬式、人の動きが限られてた上に、まん延防止で、営業活動がままならない！！
152	非常に悪い	サービス業(対個人)	0名~5名	福岡	コロナ
153	非常に悪い	サービス業(対個人)	0名~5名	北九州	前年1月~3月は休業してほぼ売上がなく、今期は売上は増加もスタッフが増え利益は減少。
154	非常に悪い	サービス業(対個人)	6名~10名	福岡	コロナのせい
155	非常に悪い	サービス業(対個人)	6名~10名	福岡	新規集客が少ない
156	非常に悪い	サービス業(対個人)	11名~20名	筑豊	コロナ感染拡大の影響
157	非常に悪い	サービス業(対個人)	51名~100名	福岡	コロナウイルスに寄る客数の減少。
158	非常に悪い	サービス業(対個人)	51名~100名	北九州	コロナの影響
159	-	製造業(生産財)	0名~5名	福岡	コロナの影響
160	-	サービス業(対事業所)	11名~20名	福岡県外	既存顧客からの照会
161	-	サービス業(対事業所)	100名以上	北九州	官庁関係の予算の関係で失注している。コロナ禍の影響で受注が減少している。

次期予想理由

10. 次期業況予想	5. 今期景況判断	1. 業種	2. 従業員数	11. 次期予想理由	
1	非常によくなる	非常に良い	商業・流通業	0名~5名	関係ない
2	非常によくなる	よい	サービス業(対個人)	100名以上	認知症介護の業界においては、日々の経営活動においてはすぐに大きな変化はみられないが、物価の高騰などじわじわと経営にも影響がでてくるでしょう。建築やリフォームも検討しているが、大規模になるとこの価格は大きく影響していくため、時期などを検討している。
3	非常によくなる	普通	製造業(生産財)	11名~20名	設備投資を控える。脱炭素で、重油が少ない品目へ転換していく。
4	非常によくなる	普通	商業・流通業	6名~10名	原材料費の高騰、中国からの輸入しにくくなる等
5	非常によくなる	普通	サービス業(対事業所)	6名~10名	新型コロナが落ち着いたら売上も上昇する可能性大。
6	よくなる	非常に良い	製造業(生産財)	100名以上	ステンレスの原料が暴騰しステンレス自体の価格が上がり設備投資を控える可能性がある
7	よくなる	非常に良い	建設業(設備)	0名~5名	静観視と資金確保
8	よくなる	非常に良い	建設業(設備)	0名~5名	今は順調でも楽観視は出来ない
9	よくなる	よい	製造業(生産財)	51名~100名	ウクライナの得意先から依頼を受け、2月8日に当社に入荷してきた品12本を再生完了し出荷するタイミングでロシア軍のウクライナ侵略が発生した。輸出書類が届かず、現在、再生完了品は当社内に滞留している。ウクライナ側有利な条件での停戦が成った場合、早ければ4月には出荷する。それとともに、夏時分には、得意先の本社のあるキエフと工場のあるクレメンチュークを訪問し、事後策と新たなPRを行なう予定。その他、半導体製造装置への特殊表面処理・樹脂押出成型機用シャフトへの表面処理・リチウムイオン電池用セパレータフィ

					ルム製造装置用アルミロールへの表面処理など、エネルギー分野・コロナ後を見据えた機械機器類への問合せや発注案件が激増している。
10	よくなる	よい	製造業(生産財)	6名～10名	悪化の一方。
11	よくなる	よい	製造業(消費財)	11名～20名	海外産の食品の輸入減と資材価格等の上昇
12	よくなる	よい	建設業(建築)	0名～5名	景気の減速
13	よくなる	よい	建設業(建築)	31名～50名	ガソリンが高騰すると思うので、価格が上がる
14	よくなる	よい	商業・流通業	31名～50名	エネルギーやその他のいろいろの調達や値上げが考えられる
15	よくなる	よい	サービス業(対事業所)	0名～5名	ネット関連事業なので、サイバー攻撃の心配はあるものの、元々インターネットは核戦争を前提とした仕組みなので、あまり気にはしていない。
16	よくなる	よい	サービス業(対事業所)	100名以上	ガソリン価格の高騰が続くことで自社の直接経費のアップはもとより、庸車先からの値上げ要請など想定される。
17	よくなる	よい	サービス業(対事業所)	21名～30名	わからない
18	よくなる	よい	サービス業(対事業所)	21名～30名	わからない。
19	よくなる	よい	サービス業(対事業所)	6名～10名	モノ不足、値上げによる消費の減少
20	よくなる	よい	サービス業(対個人)	51名～100名	良くはならない
21	よくなる	普通	製造業(消費財)	0名～5名	インバウンド需要を受ける業種の為、先行きは不透明
22	よくなる	普通	製造業(消費財)	51名～100名	影響はない
23	よくなる	普通	建設業(建築)	0名～5名	非常に厳しくなる
24	よくなる	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	今の現状よりも大変になっていくと思います。
25	よくなる	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	官庁のインフラ整備に関しては大きな変化はないと考えますが、来期に影響あるかも！
26	よくなる	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	よくわからない
27	よくなる	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	わからない
28	よくなる	普通	サービス業(対事業所)	11名～20名	物価上昇の影響から顧客の販売も鈍化すると思われます。新たなコミュニケーションツールの開発を進め、異業種への販路拡大を目指しています。
29	よくなる	普通	サービス業(対事業所)	6名～10名	原材料費の高騰、株価の乱高下、不安材料は尽きませんが、一過性の問題でもあり、コロナの今後の方が影響が大きいと予想しています。
30	よくなる	普通	サービス業(対個人)	0名～5名	物価は上昇します。よって経営環境は厳しくなると、予想しています。早くウクライナ侵攻が収まりますように。
31	よくなる	悪い	製造業(生産財)	0名～5名	資材の更なる高騰が予想される。
32	よくなる	悪い	製造業(生産財)	31名～50名	原材料が高騰し、かつ人手困難になります。
33	よくなる	悪い	製造業(消費財)	11名～20名	資材関係の値上がりがあるのではないかと不安
34	よくなる	悪い	製造業(消費財)	11名～20名	世界全体の生産工場や流通網の不安定化により、輸入商品不足が続き輸入品価格の上昇をもたらすと共に、国産商品にまで影響が出ると予想されるので、引き続き十分な粗利益確保が難しい状況となる。
35	よくなる	悪い	サービス業(対事業所)	11名～20名	石油価格の高騰を招き、諸物価が必然的に高騰し、インフレ懸念が高まる。コロナ禍も先行きが見えない中、with コロナを覚悟しなければ市場が読みきれない。第4四半期で黒字を出し、次年度に弾みをつける目論見だったが厳しい結果に終わった。次年度は昨年よりスタートした飲食店ドットコムと企業の職場環境改善に注力して事業転換を図っていきたい。
36	よくなる	悪い	サービス業(対事業所)	21名～30名	ガソリン価格の高騰で移動時の経費がかかる。
37	よくなる	悪い	サービス業(対個人)	0名～5名	ウクライナ情勢により自動車に関しても価値の変動ができてきている。貿易関係は慎重に買取する
38	よくなる	悪い	サービス業(対個人)	21名～30名	原材料費が高騰、これにより原価率が上がる。売価に転化するか検討。
39	よくなる	悪い	サービス業(対個人)	21名～30名	正直見えない
40	よくなる	悪い	サービス業(対個人)	6名～10名	情勢認識が大変難しいです。
41	よくなる	悪い	サービス業(対個人)	6名～10名	現状は変わらない
42	よくなる	非常に悪い	商業・流通業	100名以上	資源価格を中心とした物価上昇で経営環境は悪化する
43	よくなる	非常に悪い	商業・流通業	11名～20名	取扱商品が高騰している所以对応を迫られている。
44	よくなる	非常に悪い	サービス業(対個人)	0名～5名	物価高により消費は減少するだろうが。
45	よくなる	非常に悪い	サービス業(対個人)	0名～5名	ヨーロッパまで拡大しないことを望みます。
46	よくなる	非常に悪い	サービス業(対個人)	51名～100名	二極化が進む。
47	よくなる	非常に悪い	サービス業(対個人)	6名～10名	特に影響があるとは思わない
48	よくなる	-	製造業(生産財)	0名～5名	海外旅行に関しては、ロシア・ウクライナ問題は影響がある
49	よくなる	-	サービス業(対事業所)	11名～20名	不明
50	現在と変わらない	非常に良い	製造業(生産財)	11名～20名	影響は限定的と思われる。
51	現在と変わらない	非常に良い	建設業(建築)	11名～20名	当面は原材料の高騰により収益性の悪化が考えられるが、夏以降は国内景気の後退により経営環境が激変する可能性がある。
52	現在と変わらない	よい	製造業(生産財)	0名～5名	さらに材料の入れ単価の値上げがありそう
53	現在と変わらない	よい	製造業(生産財)	51名～100名	材料費の高騰について
54	現在と変わらない	よい	製造業(消費財)	0名～5名	不明
55	現在と変わらない	よい	建設業(建築)	100名以上	資材、商品の値上納品の遅れ
56	現在と変わらない	よい	建設業(設備)	6名～10名	3月1日出荷分からの値上げ通知が、再度値上げ？材料商品の確保が不安定、もしくは無になる恐れがある
57	現在と変わらない	よい	商業・流通業	51名～100名	資源高、物価高によるスタグレーション
58	現在と変わらない	よい	サービス業(対事業所)	0名～5名	楽観
59	現在と変わらない	よい	サービス業(対事業所)	100名以上	半導体のストップにより新車が生産されないの中で中古車市場が盛り上がります。よって自動車整備業には追い風となりそうです。しかし、先日のトヨタ自動車の生産ラインストップにより整備に必要な部品が入りにくい為、今のところ何とも言えません。
60	現在と変わらない	よい	サービス業(対事業所)	6名～10名	ガソリンの高騰がいつまで続くかにより、売りに占める原価の負担増が考えられる。
61	現在と変わらない	よい	サービス業(対個人)	6名～10名	石油や資材の高騰が始まっており、今後は経済情勢の外部環境で仕事量の減少や仕入れ価格の上昇が心配である

62	現在と変わらない	普通	製造業(生産財)	0名～5名	資材の高騰、流通費の高騰を危惧しています。
63	現在と変わらない	普通	製造業(生産財)	11名～20名	鋼材単価の上昇による建築計画延期
64	現在と変わらない	普通	製造業(消費財)	21名～30名	先行きが不透明。あまり仕事には影響はないかと思われるがわからない。
65	現在と変わらない	普通	製造業(消費財)	31名～50名	間違いなく原価高騰が起こると予想しているが、国内の中小企業の「賃金」は停滞している傾向だと捉えています。そのため、消費落ち込みが大きくなるのではないかと心配している。
66	現在と変わらない	普通	製造業(消費財)	31名～50名	エネルギー価格の上昇、原材料の上昇がさらに長期的に続く予想する。収益が圧迫されていく。
67	現在と変わらない	普通	建設業(建築)	11名～20名	変わらない
68	現在と変わらない	普通	建設業(土木)	11名～20名	輸入品(材料)の高騰が懸念される。エネルギー関係の高騰も懸念される。
69	現在と変わらない	普通	建設業(土木)	31名～50名	材料単価等も上昇している中、弊社の受注金額も割増しで頂けるかわからない為、厳しくなりそう。
70	現在と変わらない	普通	建設業(設備)	0名～5名	燃料・資源等の高騰
71	現在と変わらない	普通	建設業(設備)	0名～5名	ロシアのウクライナ侵攻で燃料費の高騰で経営に響くばかりで経営的には良くならない(県外の仕事が9割)
72	現在と変わらない	普通	建設業(設備)	21名～30名	資材価格等の上昇により厳しい
73	現在と変わらない	普通	建設業(設備)	6名～10名	全体的に、悪くなると思います。
74	現在と変わらない	普通	建設業(設備)	6名～10名	材料費の値上げ
75	現在と変わらない	普通	商業・流通業	0名～5名	原材料が高騰する
76	現在と変わらない	普通	商業・流通業	6名～10名	原油高・円安による仕入れ価格上昇により値上げ依頼することによる、末端顧客の購買控のため、出荷数量が少くなる
77	現在と変わらない	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	大きな変化ないがガソリン代UPの影響でコスト増加
78	現在と変わらない	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	コロナ禍と相まって人、物の流通が減少するのではないかと、その一方既存顧客に対するサービス、商品の提供はより深まっていくのではないかと考えている。
79	現在と変わらない	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	不透明
80	現在と変わらない	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	まだまだ売上拡大には厳しい
81	現在と変わらない	普通	サービス業(対事業所)	100名以上	世界的なロシア排除は当然だが、輸入などの影響は中小企業にも及ぶ。また、サイバー攻撃などの懸念も大きい
82	現在と変わらない	普通	サービス業(対事業所)	100名以上	物価高騰によりコスト高になり厳しい経営が予想される
83	現在と変わらない	普通	サービス業(対事業所)	11名～20名	変わらないと思う
84	現在と変わらない	普通	サービス業(対事業所)	31名～50名	半導体不足と燃料費の高騰は改善傾向がみられないため他の経費の削減を行っている。
85	現在と変わらない	普通	サービス業(対事業所)	6名～10名	いそがしくなると見込んでいます
86	現在と変わらない	普通	サービス業(対事業所)	6名～10名	わからない。
87	現在と変わらない	普通	サービス業(対個人)	0名～5名	特に影響なし
88	現在と変わらない	普通	サービス業(対個人)	0名～5名	石油製品価格の値上げ(オイル・タイヤ・塗料)
89	現在と変わらない	普通	サービス業(対個人)	0名～5名	現状と変わらない
90	現在と変わらない	普通	サービス業(対個人)	6名～10名	悪化する
91	現在と変わらない	普通	サービス業(対個人)	6名～10名	分からない。
92	現在と変わらない	普通	サービス業(対個人)	6名～10名	よりBCP事業計画など非常時の経営の存続方法を求められる
93	現在と変わらない	普通	サービス業(対個人)	6名～10名	取引先の経営悪化を懸念している。顧客へのヒアリングで運送業、建設業などを中心に既にかかりの影響が出ている。また販売業なども価格転嫁が追いつかない状態になっている。コロナ、半導体不足の問題が拍車をかけている。
94	現在と変わらない	悪い	製造業(生産財)	21名～30名	とにかく生産に必要な消耗品・素材が手に入りにくくなっており、生産を維持するべく備えは進めているものの、先行きは著しく不透明。
95	現在と変わらない	悪い	製造業(消費財)	11名～20名	原油高などの影響が間接的に始まる事を心配している
96	現在と変わらない	悪い	製造業(消費財)	21名～30名	現状、経営環境に及ぼすであろうと考える、輸入業であるため、ロシア侵攻の影響で空輸便に影響が出ていることで、海上輸送に影響が出ている、コロナ等の影響で海上輸送が不安定になっている中での追い打ちであり影響は大きい、そのような情勢をスタンダートな状況と捉えることができる打開策を模索しながら行っている状況。
97	現在と変わらない	悪い	製造業(消費財)	21名～30名	わからない。
98	現在と変わらない	悪い	製造業(消費財)	51名～100名	消費が低迷し、売り上げが落ちる。
99	現在と変わらない	悪い	製造業(消費財)	51名～100名	今は変わらないよう思う
100	現在と変わらない	悪い	製造業(消費財)	6名～10名	今後のロシアのウクライナ侵攻の状況により変わってくると思います。仕入れが輸入に頼っているため、為替も含め注視していきたい。
101	現在と変わらない	悪い	建設業(設備)	51名～100名	原油価格が高止まりとなっており、今後も資材価格が上昇する懸念がある
102	現在と変わらない	悪い	商業・流通業	0名～5名	今の段階で今後の仕入れ価格の値上がりや輸送に関わるコスト増が予想され、利益は増えにくい状況のでかなり厳しくなっていくと思われる。
103	現在と変わらない	悪い	商業・流通業	11名～20名	このまま長引けば原材料の高騰、配送料の高騰が予想される
104	現在と変わらない	悪い	商業・流通業	11名～20名	コロナ関係が落ちつくまで景気は悪い
105	現在と変わらない	悪い	商業・流通業	51名～100名	燃料の高騰が不安材料である。
106	現在と変わらない	悪い	サービス業(対事業所)	0名～5名	原油価格の高騰で部品等の価格上昇ができてきている
107	現在と変わらない	悪い	サービス業(対事業所)	0名～5名	世の中全体がロシア侵攻の件で混沌となり、コロナに拍車をかけてクライアント先の飲食・サービス業の集客が弱まることを懸念している
108	現在と変わらない	悪い	サービス業(対事業所)	0名～5名	物価の高騰
109	現在と変わらない	悪い	サービス業(対事業所)	0名～5名	個人、企業の可処分所得が減りさらなる苦戦が予想される。
110	現在と変わらない	悪い	サービス業(対事業所)	51名～100名	物価の上昇、最低賃金の上昇圧力等による人件費の上昇により経費負担が大きくなる。コロナ感染が治まり人流が復活することで受注、新規顧客開拓による売上上昇を見込む。
111	現在と変わらない	悪い	サービス業(対事業所)	51名～100名	今のところ、わからない
112	現在と変わらない	悪い	サービス業(対個人)	0名～5名	今にもまして非常に厳しくなる
113	現在と変わらない	悪い	サービス業(対個人)	11名～20名	製品の入荷等、今以上に厳しくなる可能性がある
114	現在と変わらない	悪い	サービス業(対個人)	6名～10名	情勢により金融の動向は気になります。

115	現在と変わらない	悪い	-	-	物価高による消費の減少
116	現在と変わらない	非常に悪い	製造業(生産財)	0名~5名	売上減少とロシア問題の因果関係は薄いと認識している。電子部品の調達にて「中国」の方が影響が大きい。今後、中国/台湾問題に拍車がかからないことを願っている。
117	現在と変わらない	非常に悪い	製造業(生産財)	11名~20名	購買意欲の減少につながると思う。
118	現在と変わらない	非常に悪い	製造業(消費財)	21名~30名	材料費、諸物価、運搬費の高騰によるコストアップに加え、消費減退及び設備投資控えから、民需がさらに減退する可能性があり、先行き景況感は厳しい。
119	現在と変わらない	非常に悪い	商業・流通業	0名~5名	原材料の高騰物流費の高騰等インフレに振れているが商品価格に転換できない為粗利の減少が見込まれ経営が圧迫される
120	現在と変わらない	非常に悪い	商業・流通業	51名~100名	原油価格と円安がどこまで進むのか非常に心配である。
121	現在と変わらない	非常に悪い	サービス業(対事業所)	0名~5名	海外旅行が、影響を受け回復が益々遅れる事を懸念しております。
122	現在と変わらない	非常に悪い	サービス業(対事業所)	0名~5名	原油価格の高騰による物価の上昇と侵攻の影響で輸出入の減少が景気が悪くなると考えています。
123	現在と変わらない	非常に悪い	サービス業(対個人)	0名~5名	原価の上昇品物不足
124	現在と変わらない	非常に悪い	サービス業(対個人)	51名~100名	商品仕入等の上昇が著しい
125	現在と変わらない	非常に悪い	サービス業(対個人)	6名~10名	家庭の生活必需品の消費金額が上がると、お金が回ってきにくいと思う。
126	悪くなる	よい	製造業(生産財)	31名~50名	現在のところは全くわからない。ただし、今年9月に電気代の更新があるが、すでに九州電力から現在の割引率では契約できない旨を伝えられている。このように購入品の費用の増加が懸念される。
127	悪くなる	よい	製造業(生産財)	51名~100名	不透明
128	悪くなる	よい	製造業(生産財)	6名~10名	経営環境が良くなるとは思えない。
129	悪くなる	よい	建設業(建築)	21名~30名	原油高等による製品値上げ等の仕入れコスト上昇が利益を圧迫してくる
130	悪くなる	よい	建設業(土木)	11名~20名	材料高騰の現在再度の値上げ要請が必至と思われる
131	悪くなる	よい	サービス業(対事業所)	0名~5名	物価高。また、コロナも含めて世間が沈滞ムードになり消費に多少の悪影響はあると思う。
132	悪くなる	普通	製造業(生産財)	100名以上	多くの災害が起こる中、何が会社に悪影響を与えるかわからない
133	悪くなる	普通	建設業(建築)	0名~5名	物価上昇により一般の消費が下がってしまうと業界的にも徐々に減少傾向になると思います。納期遅延も同じで工期のペースダウンが今後も続くかと厳しくなるのではないかと考えます。
134	悪くなる	普通	建設業(土木)	21名~30名	大変懸念している。最悪状態になるのでは
135	悪くなる	普通	建設業(設備)	21名~30名	仕入単価の上昇と材料の入荷遅れ
136	悪くなる	普通	商業・流通業	0名~5名	更なる物価上昇が懸念される
137	悪くなる	普通	商業・流通業	31名~50名	侵攻とコロナの影響で輸入品が減少しているのでその点は厳しい。但し、福岡地区自体は新規物件(土木・建築関係)があるので、そこまで悲観的ではない。
138	悪くなる	普通	サービス業(対事業所)	0名~5名	物価上昇を招く、早期平和的解決を望む。
139	悪くなる	普通	サービス業(対事業所)	0名~5名	ガソリンなど支出の増加
140	悪くなる	普通	サービス業(対事業所)	100名以上	上期は現状と余り変わらない、下期は少し悪くなる
141	悪くなる	普通	サービス業(対事業所)	21名~30名	修理業の為部品が滞ることにより納期が遅延、もしくは受注が減ることが考えられる
142	悪くなる	普通	サービス業(対個人)	21名~30名	物の値上がり当社商品にも影響してくる。
143	悪くなる	普通	サービス業(対個人)	31名~50名	物価高やサプライチェーンの分断が影響し、特に中小零細企業の営業成績が伸びず賃上げのプレーキがかかり、顧客の消費が落ち込むことが予想される
144	悪くなる	普通	サービス業(対個人)	6名~10名	悪くなる
145	悪くなる	悪い	製造業(生産財)	0名~5名	本件に関しては影響はない。
146	悪くなる	悪い	製造業(生産財)	0名~5名	見通しは立ちません。
147	悪くなる	悪い	建設業(設備)	31名~50名	まったくの不透明としか言いようがありません。しかし、当社は、食品工場の用排水処理装置に関わる会社としていえることは、ロシアからの水産物の輸入が確実に低下し、工場の操業にも大きな影響が出る事が予想され、ひいては当社のメンテナンス売上低下なることを懸念しています。
148	悪くなる	悪い	商業・流通業	11名~20名	景気低迷下での資源高による仕入れ価格の上昇スタグフレーション
149	悪くなる	悪い	商業・流通業	51名~100名	更に仕入れ価格が上がり需要の減少
150	悪くなる	悪い	商業・流通業	51名~100名	市況が不透明、コスト高の中、売上、粗利、コストのバランスをしっかりとっていく必要がある。
151	悪くなる	悪い	商業・流通業	6名~10名	全く読めず仕入値高騰も引き続き続き事が予想される
152	悪くなる	悪い	商業・流通業	6名~10名	売上の柱を増やすことが必要
153	悪くなる	悪い	サービス業(対事業所)	11名~20名	政経分離から経済安保へシフト、悪化する。
154	悪くなる	悪い	サービス業(対事業所)	31名~50名	原材料・仕入れ価格のさらなる上昇分を売価にどのように反映させていくかが重要になってくる。
155	悪くなる	悪い	サービス業(対個人)	0名~5名	対策は無し
156	悪くなる	悪い	サービス業(対個人)	0名~5名	対海外輸出入においてはコロナ禍の影響も相まって流通難、経費の高騰等により益々厳しさが増すと思われます。
157	悪くなる	非常に悪い	製造業(消費財)	6名~10名	エネルギーの高騰と小麦の値上げで飲食店が値上げを行った時の消費者の動向に注意してます。
158	悪くなる	非常に悪い	サービス業(対個人)	0名~5名	輸入品の値上げ、物流コストの値上げ、販売価格に添加出来るかが心配。
159	悪くなる	-	サービス業(対事業所)	100名以上	ガソリンや消耗品等の価格が高騰する。
160	非常に悪くなる	悪い	商業・流通業	0名~5名	殆どの物が値上がり傾向なのとコロナ、戦争等の影響で物資の調達が全然追いついていない。
161	非常に悪くなる	悪い	サービス業(対事業所)	0名~5名	非常に悪い業績を予測している。
162	非常に悪くなる	悪い	サービス業(対事業所)	21名~30名	燃料費の高騰が一番心配。その他、車両維持する上において、点検整備に関する部品の供給が滞る恐れがある。
163	-	非常に良い	サービス業(対事業所)	0名~5名	輸入食肉の未入荷・高騰の恐れあり
164	-	悪い	サービス業(対事業所)	6名~10名	旅行業は平和産業ですので、戦争反対